

平成 29 年 9 月吉日

お客様各位

株式会社平元商店

ペットボトル他、資源物状況

平素は資源回収など弊社をご利用頂きありがとうございます。

さて、今年末にかけて資源物、廃棄物を取りまく環境が大きく変化しようとしています。主に中国の法改正により輸入禁止規制がかかり、ペットボトル（ラベル付き、未洗浄）廃小型家電は今後処分費が発生する可能性が高くなってきました。日頃の資源回収にペットボトルを排出している地区は今後行わない可能性がございます。

日本は戦後、廃棄物を手選別による単一素材に仕上げリサイクルする強みがありましたが、中国が台頭するにつれ買取がはじまり、いつしか手のかかる物は中国という図式が出来上がりました。今回の中国の方向転換は、中国国内の循環型社会形成、環境汚染や健康被害を抑止するためであり、かつての日本と同じ歩みをスタートするのだと解釈しています。

ペットボトルはラベルを剥ぎ洗浄した物以外、需要がなくなり、国内における容器包装リサイクル協会も来年度よりラベル付きの受入を不可にする話も進んでおります。佐久市においてもラベル付きで排出を認めています、是正を考えて頂いております。

見通しが不透明な現段階ですが、国内回帰となりますと今後コスト増、在庫増になるのは否めません。海外情勢や国内設備投資が進み現状が見直せばまた状況が変わってきますが、中国や海外に依存していたペットボトルリサイクルは国内ではすべて処理しきれません。進捗がありしだい改めてご提案致しますが、その時になってみないとわからない、非常に先が見えない状況です。まずは現状と今後の予想としてご報告申し上げます。今後もお愛顧を賜りますよう、重ねてお願い致します。

【余談】

古い言葉ですが「混ぜればゴミ、分ければ資源」は今もその通りです。

NIMBY（ニンビー）“Not In My Back Yard”（我が家の裏には御免）と嫌われている廃棄物ですが、今の豊かな生活は循環型リサイクルを進めていかないと続かないと思います。「まだ大丈夫」といつまで人は思うのだろうかと感じます